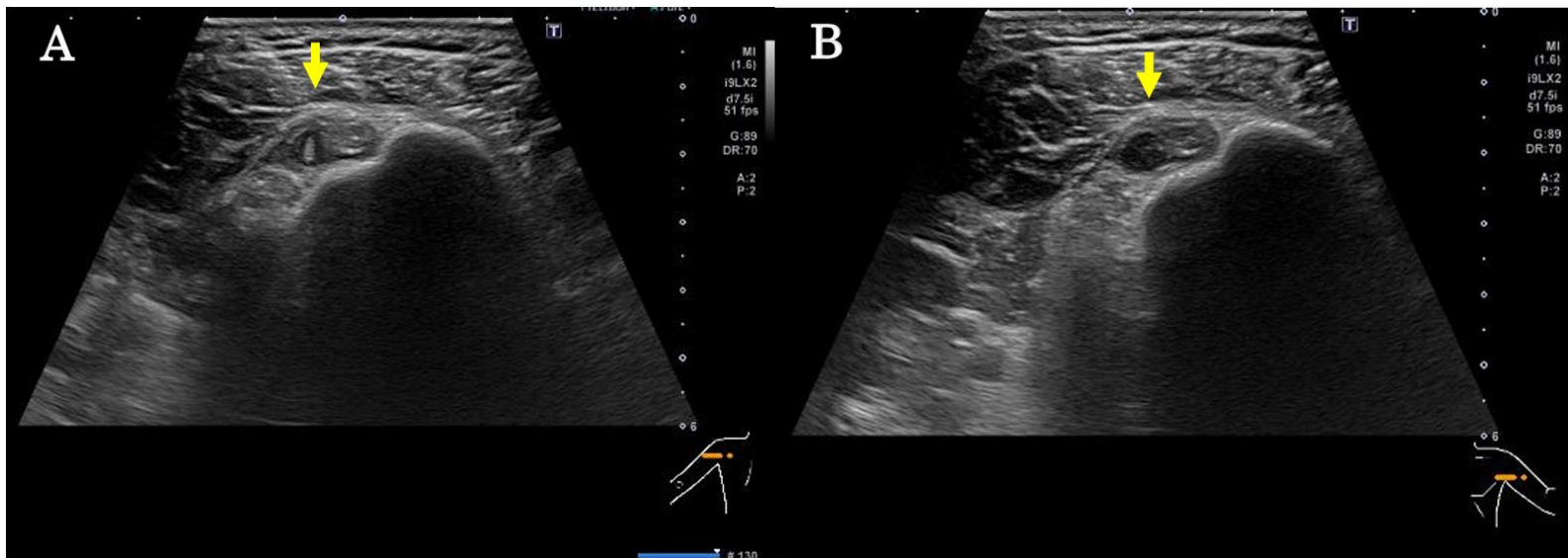


COVID-19に続発したリウマチ性多発筋痛症の1例

- ✓ 高齢男性が、COVID-19発症3日目からの両側上下肢近位部の疼痛を訴えて発症1か月後に外来受診された。超音波検査では、両側上腕二頭筋腱長頭の肥厚と周囲液体貯留（下図矢印）を認め、**リウマチ性多発筋痛症**の診断基準（ACR/EULAR）に合致した。
- ✓ ステロイド治療の開始後、速やかに症状は改善し、COVID-19がリウマチ性多発筋痛症の発症の契機となった可能性を示唆している。



コロナ罹患後に四肢の疼痛が持続する場合、リウマチ性疾患の可能性も考慮する

Ocho K, Hagiya H, Ishikawa H, and Otsuka F.
Secondary Polymyalgia Rheumatica Following SARS-CoV-2 Infection.
Acta Med Okayama. 78(6): 465-468, 2024

